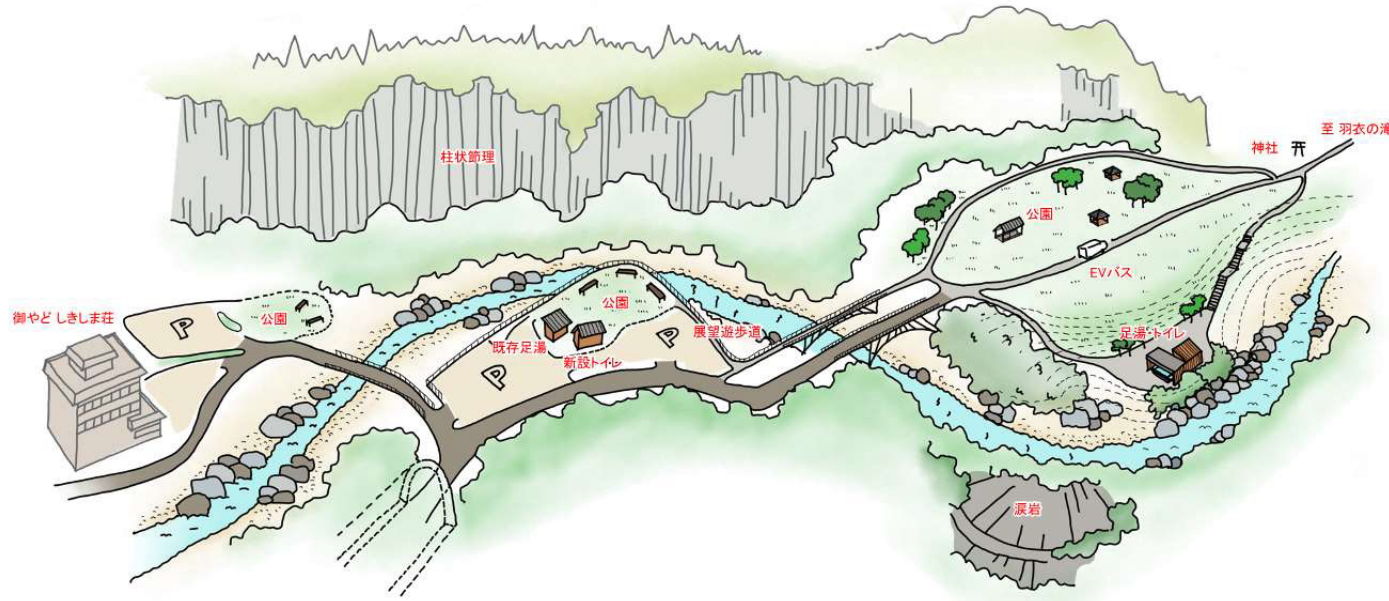


天人峡温泉地区の復興へ向けて

ふるさと納税ご寄附のお願い



元あった 天人峡の姿に 近づけるために

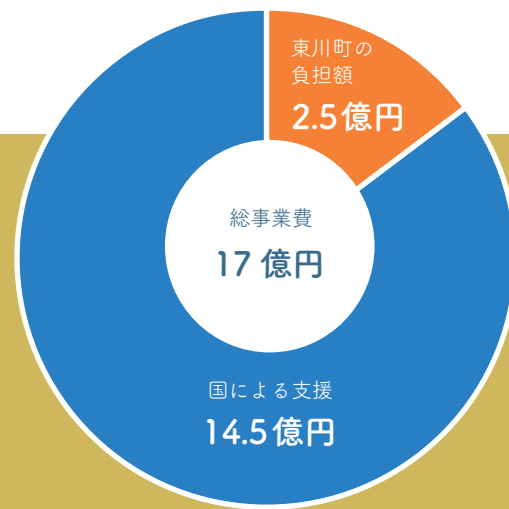
本来非常に豊かである天人峡の自然資源を次代に繋ぐため、このままの姿に放置することはでないことから、令和4年より建物の除去から跡地整備に関して、大雪山国立公園天人峡地区魅力向上検討会を立ち上げ、林野庁、環境省、国土交通省、北海道などの関係機関と地元東川町、美瑛町により検討を重ね、本来の天人峡が持っていた人と自然が共存する姿に近づけるため、東川町と美瑛町

が事業主体となり、天人峡温泉の環境保全（レクリエーションの森復活）に取り組んでいます。

この取り組みを推進するために、多額の資金が必要です。「ふるさと納税」や「企業版ふるさと納税」など、寄附者の方々にも税制のメリットになる仕組みを活用して資金を集めておりますので、ぜひみなさまからのご協力をお願いいたします。

ふるさと納税クラウドファンディングで 「天人峡温泉地区復興プロジェクト」をご支援ください

東川町では現在、ふるさと納税クラウドファンディングサイトにて、「天人峡温泉地区復興プロジェクト」の寄附を募っています。その他、通常のふるさと納税及び企業版ふるさと納税サイトでも、「天人峡温泉環境保全(レクリエーションの森)事業」として、寄附を受け付けております。皆様からのご寄附をお待ちしております。



クラウドファンディングサイト

お問合せ先

北海道 東川町経済振興課 ふるさと納税担当
Tel : 0166-82-2111



下記からもご支援いただけます

個人でのご寄付はこちら

ふるさと納税の各種ポータルまとめサイト



企業でのご寄付はこちら

町公式の企業版ふるさと納税サイト





貴重な天人峡の自然を、
私たちの手で守りたい。



東川町について

東川町は、北海道のほぼ中央に位置する、人口約8600人の町です。東部は山岳地帯で大規模な森林地域を形成し、日本最大の自然公園「大雪山国立公園」の区域の一部になっています。2,000m級の峰々を中心に構成される、大雪山系の最高峰旭岳（2,291m）は東川町域に所在。豊富な森林資源と優れた自然の景観は、観光資源として高く評価されています。



北海道最高峰「旭岳」

02 廃墟が立ち並ぶ現状とその影響

大雪山国立公園に指定されている天人峡ですが、天人峡に複数軒あった宿は、利用形態の時代の変化へ対応しきれなかったことや度重なる豪雨災害から利用者数が減少し、今では1軒の宿をのぞき経営が立ちゆかなくなり、建物が廃屋と化した状態です。現在は、廃屋化した建物が目の前に立ちはだかり、これらの素晴らしい景観を阻害しており、天人峡地区を訪れた方々の気分を損ねる状況となっています。

また、羽衣の滝へは、廃屋化した建物の横を通らないと行くことができません。このまま廃屋が放置されれば、今後、いつ廃屋の屋根や壁が羽衣の滝へ向かう道に落ちてくるとも限りません。そのような事態になれば、道は通行止めになり、羽衣の滝へ行くことは叶わず、私たちは間近に名瀑の迫力を感じることもできなくなるでしょう。負の遺産である廃屋を撤去、跡地を有効利用し、天人峡地区の魅力をより一層引き出すことが重要です。

「天人峡」

01 美しく豊かな景勝地、日本が誇る、

大雪山国立公園は、北海道中央部に位置し、日本に34ある国立公園の一つで、陸域では日本最大の国立公園です。神奈川県とほぼ同じ面積があり、広大な国立公園です。

原生的な山岳地域であり、北海道最高峰の旭岳（2,291m）を主峰とする大雪火山群を中心に、トムラウシ山から十勝岳連峰、石狩岳連峰などの壮大な山々や、北海道を代表する石狩川と十勝川の源流地域を含む「北海道の屋根」といわれる一帯が国立公園に指定されています。

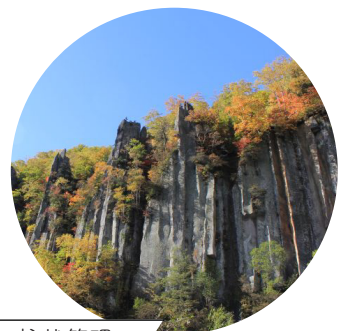
天人峡地区は、その大雪山国立公園における重要な景勝地の一つであり、大雪山の西麓に位置し、石狩川の支流

である忠別川がつくった渓谷です。北海道一の落差約270mを誇る羽衣の滝や、忠別川の両岸に連なる柱状節理の岩壁と優れた河畔林からなる渓谷景観を鑑賞することができます。そして、羽衣の滝の自然探勝や大雪山連峰登山の基地となる温泉宿もあり、大雪山国立公園を訪れる方々の滞在拠点の一つとなっています。

次代に繋ぐべき自然資源



羽衣の滝



柱状節理



天人峡温泉



廃墟となった現在の天人峡温泉街の様子